

組織部速報

2016年11月7日
No. 27

南相馬の植樹活動が新聞にも紹介される!!

組織部速報 No.20 で紹介しました「第4回 南相馬市鎮魂復興民植樹祭主催：南相馬市」が、10月24日付の「福島民報・朝刊」で紹介されました!!

3万本植樹、防災林に

原町・萱浜で市民ら2000人

東日本大震災の津波で大きな被害を受けた地域に海岸防災林と鎮魂の森をつくる南相馬市の鎮魂復興市民植樹祭は二十三日、同市原町区の萱浜地区で開かれた。今年度四回目、市内外から約二千人が参加し、復興を願う二



手前左からキャンベルさんやルー大柴さんも参加した植樹祭

とうをした。鎮守の森プロジェクト理事を務めるロバート・キャンベルさんが「一日も早い復興の一助となることを願っている。小さな新しい命を置いていただきたい」とあいさつ。ゲストのルー大柴さんが植樹に関するクイズで意識を高めた。

参加者は災害がれきの再利用資材などを活用して盛り土した約七千平方メートルの海岸防災林造成地に、タフノキ、アカガシなどの苗木を一本ずつ丁寧に植えた。

県職員や県警本部職員ら参加
全国植樹祭PR

植樹祭には県職員と県警本部の警察職員ら約百人がボランティアとして参加した。平成三十年春に南相馬市を中心に開催が決まった第六十九回全国植樹祭をアピールするのが目的。全員がPRベストを着用して植栽に汗を流したほか、ブースを設けて大会開催の周知に努めた。